

やはり、予想通り日本はついに亜熱帯になってしまったのでしょうか。残暑ではなく、夏が長いです。一時は、雨が降らず、影絵の七つの星のように、全てが枯れ果てて、動物たちも倒れていってしまうような天気が続いていました。

エアコンやクーラーなくして過ごせず、クーラーに守られた生活に慣れた子どもたちは、暑さに弱い、耐性のない身体になると懸念されています。暑い日中の野外からは、子どもたちの姿が消えてしまう日常になってしまったようです。熱中症は怖いですが、適度な水分補給と環境設定で、夏の耐性をつけていく、暑さに耐えられる身体にしていけることが、これからの課題でしょう。エアコンやクーラーに頼らない住宅環境も含め、何よりも、生活様式の米直しや工夫が求められるでしょう。

大地は、新学期が始まり、日々、木陰の砂場で過ごすことを主流にしていたところ、やはり同じ所でリズムよく遊んでいると、その質 内容が高まってきて、日毎に創意工夫発展して行くのが目に見えて面白いです。特に、カラパターンの小屋の屋根での遊びが凄いです。屋根掃除、竹のトヨなどを使っての遊び。屋根が、遊び場になっています。

20 代の頃、保育園勤務時代から、平坦な木もないような木陰のない園庭のジャングリズムやブランコで遊ぶ子どもたちの姿を見て、何かおかしいな？と思っていたことが、今になって見れば、砂漠のような園庭やグラウンドは、厳しいと思います。(年に 1, 2 回の運動会の為だけか)

大地は、まさに 木のドームに囲まれており、全天候型の自然大地ドームかもしれません。こんなドームで、日々たっぷりと遊んでほしいと願っています。

【夏の大地キャンプツアー】

①満腹おはなし会 ②おおぞらトライアスロンキャンプ ③大地ベースキャンプ ④星空キャンプ ⑤大地チャレンジキャンプ ⑥大地サイクリングキャンプ ⑦おはなしかめさん (プライベートでは、乗鞍ヒルクライムキャンプや笹ヶ峰や新潟ツアーなど)



今年の夏も、元気に過ごすことができました。野外教室のキャンプ活動は、幼稚園開園よりも 3 年ほど早く、現在の園舎もなく、実家の物置の 2 階や庭で活動していました。簡易水洗のトイレ(下水道ないくみ取り)は 10 日足らずで溢れ、家庭用の 2 ロコンロで炊飯し、簡易竈と薪を持参して遠征。スタッフはおらず、父親や親戚のおじさんと一緒に、マイクロバスを運転して、全てを一人で賄っていました。笹ヶ峰に、ノンタン母さんがマイクロを運転して来たり、昼食を届けに来たりしてくれたり。(妻は、子育て中でキャンプ同伴は不可) 中高生が一人前にスタッフになって活躍してくれていました。青ちゃんも 30 代で、血気盛んな時でしたが、さすがにキャンプ後半では、点滴を打ちながらやっていたのも、よい思い出です。当時も、今と変わりなく、4 つ位のキャンプを企画し、北海道や能登にも、長期遠征 登山などもしていました。

大地の園舎ができてからは、ここがベース基地となり、設備を順次整えながら、現在のように大地で様々な活動ができる環境になりました。環境が整っても、専門スタッフはおらず、妻と二人で、中高生達と乗り切り、長男や長女も協力してくれたりしながら 綱渡りのように、夏 冬 春 とキャンプをしてきました。ようやく、ガー君が来て、そして近年は、モッチー(澁谷さん)が常駐スタッフとして来て下さり、夜の就寝は、2 階で眠れるようになりました。それまでは、子どもたちと 24 時間一緒に生活でしたから、命を預かる身としては緊張の連続でした。大地からの遠征キャンプでは、もちろん当時と同じように、登山でも平地でも一緒です。(近年は、テントをほとんど使用せず、野宿ですが・・・そのお陰で、警察や地元やパトロールの人達に、やっかいになる！？こともあり、子どもたちは 秘かに青ちゃんが逮捕されることを喜んでいました！！)

さて、今年の夏も、よくこれだけ詰め込んだものです！！ 毎年キャンプの計画を立てる時(妻には相談しないで、できてから見せる)当時のイメージ勢い、そして 夏の躍動感で、年齢を忘れて、キャンプ計画を立ててしまい、妻に、よくこれだけ休みもなく入れたもんだねとあきれられ、「まあ、好きでやっているんだから仕方ないね」と許してくれます。(と言っても、一緒にやらざるを得ない立場でありながら、文句を言わない妻は、神様です)

一般的な旅館やホテルだったら、朝夕のご飯と泊まる場所を準備して、日中は、どうぞご自由にですが、大地は、3 食そして日中の活動も含め 24 時間一緒です。しかも、電気やガスを使わないという変なこだわりで、全て、煙にまみれて、竈や野外で炊事、美しいノンタン母さんの顔や手は、ススと煙で黒ずみ、夏冬の暑さ寒さを問わず、野外での炊飯料理。石窯やパン作りなどで、超一流の無添加生活クラブベースの美味しい料理を妥協せずに作り続けます。風呂も夏冬問わず、野外の五右衛門風呂。暖かい柔らかい布団もなく、野外でのシュラフ、最近は、冬や春も、隙あらば、車庫やかまくらで寝る事も多くなっています。

こんな大地のキャンプの流れで、今年も、たくさん子どもから大人が、大地を楽しんでくれました。

- ①満腹おはなし会 1 泊 2 日キャンプ。17 名の大人が、野外で夜 10 時過ぎ、朝 4 時半から、計 60 話近いおはなしをし続けました。もちろん、野外で星空シュラフで就寝した方も。スタッフ：青ちゃん夫婦
- ②おおぞらトライアスロンキャンプ。6 名の子どもと笹ヶ峰自転車ヒルクライム と飯綱登山。今を生きる！！ 子どもたちのエネルギーの高さを証明。スタッフ：青ちゃん夫婦 ガー君
- ③大地ベースキャンプ。5 泊 6 日。笹ヶ峰遠征 2 泊を含めて、猛暑の中 川 高原でひたすら遊び、竈や石窯で料理作り、工作などに励む。スタッフ：青ちゃん夫婦 ガー君 モッチー
- ④星空キャンプ。1 泊 2 日。年少児以下の家族、しかも 野宿などは初めてなのに、抵抗なく宿泊。五右衛門風呂、流しそうめん 竈料理など大地スペシャルコースを満喫。スタッフ：青ちゃん夫婦 ガー君
- ⑤大地チャレンジキャンプ。5 泊 6 日。中高生主流。天候に左右され、浅間山に 2 度チャレンジ。送迎用ハイエーストラブルを乗り越え、全てにチャレンジ。海水浴もあり。スタッフ：青ちゃん夫婦 ガー君 モッチー
- ⑥大地サイクリングキャンプ。中高生中心。一番元気な世代だけに、驚異的な速さとエネルギーで、笹ヶ峰を登って下って来た。まさに、青春真っ盛り。スタッフ：青ちゃん夫婦 ガー君
- ⑦おはなしかめさん 1 泊 2 日。今夏最後の宿泊キャンプ。10 名宿泊。スパイスカレー 大地産の野菜だけを使った朝食。そして、ソーセージホットドッグにフライドポテト。ラッパ話株式会社社員出勤。スタッフ：青ちゃん夫婦。

スタッフは 青ちゃん夫婦とガー君とモッチーでしたが 7 キャンプのうち、ガー君は 5 モッチーは 2 ですが、キャンプ数ではなく、宿泊回数(野外)は凄いです。ガー君は、大地で育ち、山小屋勤務もあるので、野外活動就寝は大丈夫でしょう。で注目なのは、モッチーです。一人娘で育ち、一介の専業主婦であり、ご存じきっちりストールさん！(きっちり生真面目) どこでも眠れる という特技を自称しているだけに、芝生 文庫玄関 倉庫 海辺 どこでも眠れますが、それでも凄い！！ 時には、トラブル時は園長代理！？夜の子どものおねしょや寝言や不法侵入者などにも、すぐに気づき対応してくれて、眠り込んでいるようで、周囲に気を配らせています。風呂も化粧もしないで、大地の野外キャンプに、連続して勤めてくださる主婦は、そんじゃそこらにはいないと思います。

こんなブラック企業スタッフのお陰で、この夏も無事終了、涼しい寒い冬のキャンプが、待ち遠しいです！！